



中央農業高校 校長室だより 4月号

— 命はぐくむ学びの風景 —

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

新年度がスタートし、中央農業高校の校内にも新しい風が吹いています。4月7日には入学式を挙行し、新たに本校の仲間となる新入生を迎えました。今年度からは新制服も導入され、新しい制服に身を包んだ新入生の姿からは、これから始まる高校生活への期待と希望が感じられました。創立120周年を迎える本校にとっても、新たな歴史の一步となる春となりました。

入学後、校内では部活動紹介や見学が行われ、多くの新入生がそれぞれの部活動へ入部しました。運動部、文化部、農業クラブ関係の活動など、校内のあちらこちらで先輩たちが新入生を迎えながら活動する姿が見られ、学校全体が活気に包まれています。先輩が後輩に優しく声をかける様子は、本校の温かな校風を感じさせる場面でもあります。

また、4月18日、19日には、相模原市の角上にある「肉の大久保」において、本校養豚部による豚肉販売会が行われました。生徒たちは、自分たちが丹精込めて育てた豚について、お客様に説明をしながら販売活動を行っていました。最初は緊張した様子も見られましたが、次第に自信を持って接客する姿へと変わり、多くのお客様から温かい言葉をいただいています。

本校では、「命はぐくむ」の教育理念のもと、日々の実験・実習や地域との関わりを大切にしています。農業の学びは、作物や家畜を育てるだけでなく、人との関わりの中で責任感や思いやり、社会性を育てる学びでもあります。販売会での生徒たちの姿からも、その成長を強く感じる事ができました。

新しい年度が始まり、学校はこれからさらに多くの活動が本格化していきます。生徒一人ひとりが仲間とともに学び、挑戦し、成長できる一年となるよう、教職員一同支えてまいります。今後とも本校教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。

神奈川県立中央農業高等学校